

四誓の偈

われ ちょうせ がん た かなら 必ず 無上道に至らん 斯の

願満足せずんば誓つて正覚を成ぜず

われ 無量劫に於て 大施主と為つて 普く 諸の 貧苦

を 濟わすんば誓つて正覚を成ぜず

われ 佛道を成ずるに至らば 名声十方に超えん 究寛

して 聞ゆる 処なくんば誓つて正覚を成ぜず

離欲と深正念と浄慧との 修梵行を以て 無上道を

志求し 諸の 天人師と為らん

神力大光を演べて 普く 無際の 土を照し 三垢の 冥

を 消除し 広く 衆の 厄難を 濟い 彼の 智慧の 眼を開

きて 此の 昏盲の 闇を 滅し 諸の 悪道を 閉塞して

善趣の 門に通達せしめ 功祚満足することを 成して

威曜十方に朗なり 日月重暉を戢めて 天光も隠れ

て現ぜず 衆の爲めに法蔵を開きて 広く功德の宝

を施し 常に大衆の中に於て説法師子吼し給う

一切の佛を供養し 衆の徳本を具足し 願慧悉く

成満して 三界の雄と爲ることを得たまえり

佛の無礙智の如きは通達して照らしたまわずと云ふ

となし

願わくは我が功慧の力 此の最勝尊に等しからん

斯の願もし剋果せば大千まさに感動すべし

虚空の諸天人まさに珍妙の華を雨ふらすべし